

TruPhase の活用(26) —入出力系統の整理(2)—

1. はじめに

不調になった Brooklyn DAC+を修理に出し、代替機として中古品を確保しましたので、再度 TruPhase の入出力系統の見直しと入れ替えを行います。

2. TruPhase の入出力系統の整理

DA-3000 の送り出しは、バランスアナログ出力から SDIF 経由に戻します。

TruPhase への INPUT は次のように設定します。

XRL1 EMT981→TruPhase(B)

XRL2 Brooklyn DAC+

RCA1 ZANDEN Model120

RCA2 Leak Poit1 or DAC-1

RCA3 SWD-DA20

TruPhase からの OUTPUT は次のように設定します。

XRL 300 シングル

Brooklyn DAC+への INPUT は次のように設定します。

SDIF DA-3000

LINE ZANDEN Model 120

USB fiidata HFAS1-S10

Brooklyn DAC+からの OUTPUT は次のように設定します。

XRL TruPhase XLR2



以前は Brooklyn DAC+が下段であったが、放熱の関係で上下入れ替え
Brooklyn DAC+は、SDIF 経由で DA-3000 から 5.6MHzDSD 再生中

3. TruPase の入出力系統の確認

上記の入出力系統に関して音源別に再生状況を確認していきます。

アナログ再生 1 (XLR2 入力)

LP-12→ZANDEN Model 120 →Brooklyn DAC+ →XLR2 (今回変更・確認)

TD124→ZANDEN Model 120 →Brooklyn DAC+→XLR2 (今回変更・確認)

アナログ再生 2 (RCA2 入力)

Garrad401→Leak Poit1→RCA2

配信音源再生 1 (RCA3 入力)

PC (USB) →SWD-DA20→RCA3

配信音源再生 2 (XRL2 入力)

fiidata HFAS1-S10 (USB) →Sonica DAC→DA-3000→XRL2

Sonica DAC→DA-3000→XRL2 (今回変更・確認)

PC (USB) →Sonica DAC→DA-3000→XRL2 (今回変更・確認)

ファイル音源再生 1 (RCA3 入力)

fiidata HFAS1-S10 (USB) →SWD-DA20→RCA3

ファイル音源再生 2 (XRL2 入力)

fiidata HFAS1-S10 (USB) →Sonica DAC→DA-3000→XRL2

fiidata HFAS1-S10 (LAN) →Sonica DAC→DA-3000→XRL2

CD 再生 1 (XRL1 入力)

EMT981→TruPhase (B) →XRL1

CD 再生 2 (RCA2 入力)

47 研 4716→CCV-5→DAC-1→RCA2

MQA-CD 再生 (XRL2 入力)

fiidata HFAS1-S10 (USB) →Brooklyn DAC+→XRL2 (今回変更・確認)

Diga 録画再生 (XRL2 入力)

DMR-UBZ1 (S/PDIF) →Sonica DAC→DA-3000→XRL2

今回変更の経路について上記のいずれも所定の再生が確認でき、音質的にも特段の問題を認めませんでした。

4. まとめ

Brooklyn DAC+の代替機確保にともなう入出力系統の見直しと入れ替えを行いました。Brooklyn DAC+は、DA-3000 からの SDIF 入力、fiidata HFAS1-S10 からの USB 入力、ZANDEN Model 120 からの LINE 入力など正常に動作することを確認

しました。

以上